



Southern Cross

ちびっくん
くるす

vol.36

KINAN HOSPITAL
OFFICIAL INFORMATION PAPER
September 1st.2014

左会津川下三栖付近で見つけた赤とんぼ



外科主任部長
宮崎 知

腹腔鏡下手術(外科領域)のお話

腹腔鏡はお腹の中を観察する内視鏡のことで、胸の中もちろん同じ内視鏡で観察でき、この場合は胸腔鏡といいます。腹腔とは胃や腸などの臓器が納まっている空間です。3~4カ所5mm~1cmの小さな穴を開け、腹腔内に炭酸ガスを入れてドーム状にふくらませて空間を作り、そこから筒状のスコープや器具を入れてテレビモニターを見ながら行う手術です。日本では臨牀的には1990年に帝京大学の山川達郎先生が胆嚢摘出術を行ったのが初めて、以後手術器具、映像技術の急激な進歩とともに普及し、現在はロボットや3D画像による手術が行われるようになりました。初期の頃は胆嚢摘出術が腹腔鏡手術の大半を占めていましたが、胃癌や大腸癌に対しても10数年前から徐々に施行され、最近は膵癌や肝臓癌に対しても行われるようになりました。腹腔鏡手術は外科手術400年余の歴史の中で最も大きな革新と言われ、胆嚢摘出術の8割以上が腹腔鏡で行われ、胃癌・大腸癌を含め年間約3万件以上の腹腔鏡手術が行われています。もちろん泌尿器科・婦人科・胸部外科等の領域にも広く普及しています。

腹腔鏡手術の患者さんへの最大の利点は傷が小さいことによる低侵襲(体への負担が少ない)手術であることです。傷が小さいことは美容的に優れているだけでなく、術後の痛みが軽く早期の離床が可能です。腸管運動が早期に回復し、食事も早く開始でき、癒着が少なく腸閉塞症が生じにくい利点もあります。これらによって入院期間の短縮、早期の社会復帰が可能になりました。術者側の利点としてはカメラが近接することで細部まで観察可能となり、拡大視効果により細かい操作が可能となり、出血量を減らし、癌の手術においてもリンパ節郭清なども血管の周りの神経を温存して確実にできるようになりました。

腹腔鏡手術が開腹手術に劣る点もちろんあります。手術難度が高い分、開腹手術よりも時間がかかります。また急な出血への対処が困難であり、逆に出血量が増加したり、操作部位に集中しすぎて見えていない部分で他の組織を損傷することがあります。また技術の習得に時間を要し、個人の技量が開腹手術に比べ重要になります。また腹腔鏡手術は痛みがないと思われる患者さんもおられるようですが、創部の長さに応じた痛みはもちろんあります。しかし開腹手術に比べるとかなり軽減されていると思いますが、疼痛には個人差があります。

当院でも腹腔鏡下胆嚢摘出術は早期から導入し、胆嚢摘出術の9割は腹腔鏡手術であり、最近はさらに低侵襲を目的にポートの挿入部を臍一箇所から行う単孔式腹腔鏡を行っています。5年前より胃癌・大腸癌に対しても腹腔鏡下手術を導入しています。ただ、消化器癌の手術は胆嚢結石手術とは異なり、太い血管の切離やリンパ節郭清等の複雑な操作が必要となります。基本的には各臓器癌のガイドラインに準じて適応症例を決めています。例えば胃癌では粘膜下層までの病変で極近傍のリンパ節に転移が限られている早期胃がん準じた症例が適応です。大腸癌で一部の直腸癌を除く殆どの早期・進行大腸癌が対象となります。対象外となるのは、他臓器浸潤例(他の臓器に癌がくい込んでいるもの)、腫瘍径が7-8cm以上などの大きな症例です。癌以外では食道裂孔ヘルニア、胃良性腫瘍や粘膜下腫瘍、腸閉塞の癒着剥離術、小腸切除、腹腔内リンパ節生検なども可能です。また、成人の鼠径ヘルニアに対しても腹腔鏡手術を導入し、術後の疼痛改善や美容的利益を提供しております。

腹腔鏡の手術には高度の手術技術や使用機器や映像装置の知識を必要とします。日本内視鏡外科学会では腹腔鏡手術における業績や手術手技をビデオ審査により評価して技術認定制度を設けて、質の高い手術の維持・向上を図っております。当院外科にはこの技術認定を有した2名の外科医が在籍しており、日々手術の研鑽に励んでおります。どうぞお気軽にご相談いただければ幸いです。



医療功労賞受賞！！

このたび医療功労賞(主催:読売新聞社、協賛:エーザイ)の都道府県表彰を受けました。長年にわたり、地域医療で功績をあげた人をたたえる賞で、具体的には15年以上地域医療に貢献した50歳以上の医療職従事者が対象とのこと。この賞を受け、今後も一層精進する所存です。



歯科口腔外科
主任部長
大亦 哲司



表彰式の様子

33 地域 せ 2014年(平成26年)2月1日(土曜日) 33

和歌山

「第42回医療功労賞」(読売新聞社主催、厚生労働省、日本テレビ放送網後援、エーザイ協賛)の表彰式が31日、和歌山市の読売新聞和歌山支局で行われ、社会保険紀南病院(田辺市)の歯科口腔(こうくう)外科主任部長、大亦(おおまた)哲司さん(52)に表彰状が手渡された。

大亦さんは、顎の変形や舌がんなどを治療する口腔外科専門医として1998年、同病院に赴任。紀南地方に専門医は少なく、外来を1日に100人以上受け、週に10人以上の手術をこなすほか、救急医療にも積極的に取り組んでいる。

そのように地域医療の発展に貢献してきたことや、今の医師臨床研修制度が始まる前から研修医を指導するなど、若手の育成にも取り組んできた功績がたたえられた。

式では、大亦さんに、同支局の高部真一支局長から表彰状が手渡され、エーザイの内海真次和歌山コミュニケーションオフィス長から記念品が贈られた。

県の中川伸児福祉保健部長は、県知事の祝辞として、「受賞は後に続く歯科医師に大きな励み。これからも県の地域医療にご協力いただきたい」と話した。

大亦さんは「今は、口の病気と全身の病気の関連も明らかになってきており、口を守ることが全身の健康につながる時代。歯科口腔外科の重要性が増す中、ますます頑張り、地域医療を守りたい」と述べた。

和歌山支局
〒640・8241
和歌山市雑賀屋町 東ノ丁14
☎073・422・1144
FAX 422・1144
ホームページ
<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/wakeyama/>
通信部
湯浅 0737・62・2614
御坊 0738・22・0784
紀南 0739・22・1541
串本 0735・62・0324
新宮 0735・22・7174
橋本 0736・33・4834

2014年2月1日の読売新聞に掲載されました。

研修医日記



研修医
内芝 舞実

26年前、私は旧紀南病院で産声をあげた。体重2760g、今では想像もつかないような、かわいらしい女の子だったとか。いやそれは嘘で、生まれた時から胸板が発達していたとか…。あれから26年経ち、予想外というより予想通り、勇ましく育ってしまったようです。そんな私、研修医1年目内芝舞実の半生を振り返ってみます。

1988年6月12日、午後6時35分にこの世に産み落とされた。その私を取り上げてくれたのは圃中健吉先生と、柴崎悦子助産師であった。私を産んでくれた母よりも先に、私の真っ裸を見たお2人である。

最近院内でも顔見知りが多くなり、「先生、紀南病院で生まれたんやってね?もしかして、先生取り上げた人まだ勤めてたりするんじゃない?」と話しかけられることがあった。何やら面白そうな話だな、と思って実家の母に母子手帳を出してきてもらった。そこに書いてあったのがそのお2人の名前であった。圃中先生はお亡くなりになってしまっているようで、残念な気持ちです。一方、助産師さんも既に退職されてしまっているようで、お会いできる機会があれば一度お会いしたいと物思いに色んなことを想像してしまっています。

紀南病院で生まれて16年経った頃、たくましく育った私は、田辺高校に入学し、槍投げを始めました。「これだ!槍投げを究めて大学に進学し、将来は体育の教員になるう!」と思っていた矢先、大会で左膝を負傷しました。歩けない、走るなんてとんでもない…そんな期間がしばらく続き、大阪まで足を伸ばし、スポーツドクターの資格をもつ医師に手術をしてもらいました。その医師との出会いがあって、今の私が存在します。膝を負傷しなければ…、スポーツドクターに出会わなければ…、手術を受けなければ…、色んな巡り合わせが重なって、医師を目指さきっかけとなりました。高校では文系に所属していたため、医学部を目指すと思ったものの、履修科目が全く足りないという現実を突き付けられ、1年の浪人期間を経て何とか医学部に入学。そして今春、何とか医師になることができました。まだまだ初心者マークをつけて運転中、日々の仕事をこなすだけでいっぱいいっぱいですが、毎日楽しく病院の中をかけずり回っています。

そんな縁あって紀南病院で生まれ、そしてこの春、紀南病院に戻ってきた私ですが、田辺に帰ってきて、研修先に紀南病院を選んで、本当に良かったと思っています。まだまだ仕事は遅いし、上手いかないことも多々あり、自分の馬鹿さに辛くなってしまいうこともありますが、充実した毎日を過ごしています。日々勉強、精進して参ります。

皆様、院内に限らず田辺のどこかで見かけても、どうぞ温かく見守って下さるよう、よろしくお願い申し上げます。

地域医療連携だより

—— 最近思うこと ——

上富田町朝来に開業している中北です。
平素は格別なご高配を賜り有難うございます。

開業して4年半足らず経ちました。患者層は、脳神経外科を標榜しているため高齢者が圧倒的に多いクリニックです。高齢者と言っても、90歳を優に超した患者さんも結構おられます。会議のために、高速道路を使って自ら運転して和歌山市まで行ってくる95歳のおじいさん、待合室で、巨人ファンのおばあさんに、前日の阪神巨人戦の内容を先発投手がだれでどういう試合展開だったかを事細かに説明する阪神ファンの100歳のおばあさん、これらの方々を単におじいさん、おばあさんで片づけられないような気がします。このように80歳代後半から100歳までの方々と外来で話をしていると、独特な活力を感じる事があります。



中北クリニック
中北 和夫



ロゴマークの中央にある黄色は「脳」を表し、赤は「脳血管」を示しています。脳と脳の血管は、中北の頭文字である緑の「N」で囲まれています。つまり、「脳と脳血管は中北クリニックが守ります。」というイメージでロゴマークを作りました。



最近、「永遠のゼロ」という特攻隊を題材にした百田尚樹の小説を読みました。そこには、若者の生と死の苦悩と、あまりにも官僚的な軍部の身勝手さが描き出されています。日本軍上層部の愚かな決断に翻弄され、どれだけ多くの若者の命が奪われたことか。戦争というものは、あまりにも残酷で、往々にして人間性を失わせしめる状況にあることが窺い知れます。日本軍は、若者の命を捨て駒のように扱っていたのです。そんな最悪の条件のもとでも、戦地から生きて帰って来た方々が、今まさに90歳前後の男性であり、そして銃後の守りで耐え忍んできたのは同世代の女性たちです。戦中、戦後ともに、肉体的にも精神的にも大変な時代を生き抜いてこられました。さらに、敗戦後、日本の復興という重荷を負わされ、ずたずたになった日本を立て直したのも、またこの世代の方々なのです。日本を本当に復興させたのは、企業戦士と言われた団塊の世代ではありません。団塊の世代と違い、戦争を経験した方々は、文句を言いません。すべてのことに耐えることを習得しているのです。

現在の日本の繁栄は、戦中の大きな犠牲と、戦後、生き残った人たちの血のにじむような努力のおかげで成り立っていることをしっかりと心にとめておかなければなりません。しかし、この世代の方々には恩を着せません。そして寡黙です。毅然とした精神力を持っているからこそ言葉が少ないのでしょうか。ものの考え方は決してアメリカナイズされていません。本来の日本人の心を忘れてはいません。私たちは、今その精神と道徳を受け継ぎ、修身しなければなりません。インターネットで自らは名乗らず平気で誹謗中傷する者、学校の給食で、給食代を払っているから「いただきます」は言う必要がないと主張する父兄、それを受け入れる教師、一体いつから、日本人はこのような恥知らずの国民になったのでしょうか。

現在、85歳以上の老人の人口比率は3.6%です。あと10年もすれば、戦争経験者は皆無に近い状態になります。崇高な精神を享受できる時間は限られています。私は、「昭和のラストサムライ」の声に、今一度、尊敬と感謝の念を持って耳を傾け、そして接していきたいと考えています。



New Face さ～ん



《心臓血管外科》

きたばやし かつきよ

北林 克清

①奈良県②サッカー③
おいしい魚を食べたい
です。また教えて下さい。
仕事も頑張ります。



《整形外科・リハビリテーション科》

かながわ たけひこ

金川 建彦

①大阪府②特に言えるほどのものは
ありません。③田辺地域の患者様
のお役に立てるよう頑張りたいと思
います。

乳がん講演会のお知らせ

乳がんは女性に一番多いがんで、40歳～50歳代をピークに発症や死亡が増加しています。子育てや介護、仕事など女性が忙しい時期はつい見逃してしまいがちです。正しい知識を持ち早期発見・早期治療に努めましょう。

日時 平成26年9月14日(日)
午後1時～5時
会場 紀南病院3階講堂

13:00～14:00 検査機器公開(1F☎コーナー付近)
「みてみよう検査の機械、触ってみよう乳房のしこり」

14:00～14:30
「受けよう乳がん検診」
講師:南和歌山医療センター胸部心臓外科医師 清水 幸先生

14:30～15:00
「乳がんの治療について」
講師:紀南病院外科部長 山邊 和生先生

15:10～16:10
特別講演「リンパ浮腫の治療とケア」
講師:後藤学園リンパ浮腫研究所長 佐藤 佳代子先生

16:10～17:00
個別質問&相談コーナー

編集後記

一雨ごとに涼しくなる事を心待ちにしている残暑厳しい日々ですが、近頃の天候は非常に勢力の強い台風、大雨、竜巻と異常気象が続いています。

気象庁の特別警報でも「これまでに経験した事のない大雨」と発表されていました。

天が示す如く、人も自然もモンスター化しているように思えてなりません。

日頃、ライフラインの整った生活をしている私達にとって天災は人間に対する戒めなのでしょう。

そろそろ夏の疲れが出てくる頃です。皆様ご自愛なさいますように。

Y.T

daikoku 株式会社 大黒

本社: 〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

和歌山事業所	: 〒641-0012 和歌山市紀三井寺855-71
紀三井寺事業所	: 〒641-0014 和歌山市毛見 1111-1
大阪支店	: 〒550-0002 大阪市西区江戸堀 3-5-27
南大阪支店	: 〒594-0031 和泉市伏屋町2-16-11
紀南支店	: 〒646-0011 田辺市新庄町3778-2
神戸支店	: 〒650-0023 神戸市中央区栄町通5-2-6
奈良支店	: 〒630-8115 奈良市大宮町4-295-10 奈良朝日生命川口ビル 1F
関西空港営業所	: 〒590-0523 泉南市信達岡中919-1
新宮営業所	: 〒647-0052 新宮市橋本 2-5-61
東京麹町オフィス	: 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-2 BUREX 麹町 301号
京都丸太町オフィス	: 〒606-8395 京都市左京区丸太町通川端東入 東丸太町32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

保健・医療・福祉の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。

 **SEIKO MEDICAL**
医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

■本 社 〒640-8287 和歌山県和歌山市築港6丁目9番地の10 TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223	■田辺営業所 〒646-0011 田辺市 新庄町 2744 番地 TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578
■大阪支店 〒595-0012 泉大津市北豊中町2丁目5番28号 TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619	■新宮営業所 〒647-0072 新宮市 蜂伏 20 番 22 号 TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133
■阪大前営業分室 〒641-0012 和歌山県紀三井寺768番地の13 TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781	■奈良営業所 〒832-0082 天理市 荒崎町 56 番地の 4 TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810